

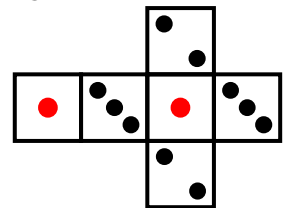
大1トラップすごろくの 使い方

大1トラップすごろくの準備物

- ①できれば、すごろくを行うグループに、ファシリテーター（大学教職員や大学生などの大学関係者）を用意しましょう。

※各マスの内容には、大学関係者以外には分かりにくい、大学特有の用語や、大学生活特有の状況が多々含まれています。そのため、それぞれのマスに止まるたびに、ファシリテーターによる解説コメントがあると、よりマスの内容の理解が進みます。

- ②できれば、サイコロは「1 2 3 賽」（サイコロの出目が1～3のみのもの）を使いましょう。



※多くのマスに止まるほうが、「大1トラップ」の学習に役立ちます。

- ③大きめのすごろく用紙（できればA0サイズ）

大1トラップすごろくのルール

- ①基本的には、普通のすごろく（サイコロを振って、出た目の数だけ進む）と同じルールである。

- ②各マスの数値（+0～+4）は取得できる単位数である。

- ③ゴール（2年進級）までに3 5 単位取得する必要がある。

※3 4 単位以下の場合、その単位を持ったまま、後期の最初（3 7 マス）に戻る。

※1 回限り、「チャンス」がある。サイコロを振り、出た目の数だけ単位を追加できる。その結果、3 5 単位に達すれば、ゴールできる。

- ④3 9 マスの「スタートに戻る」に止まったら、単位を持ったままスタートに戻る。

※より厳しくする場合は、単位を持たずに（0 単位になって）スタートに戻るというルールも可。

※1 回限り、「チャンス」がある。サイコロを振り、「2」か「3」が出れば、「スタートに戻る」を回避できる。